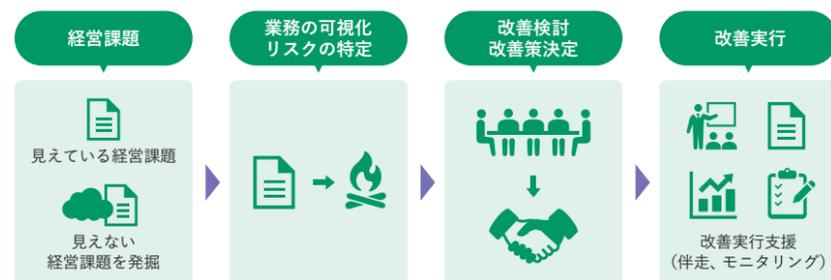
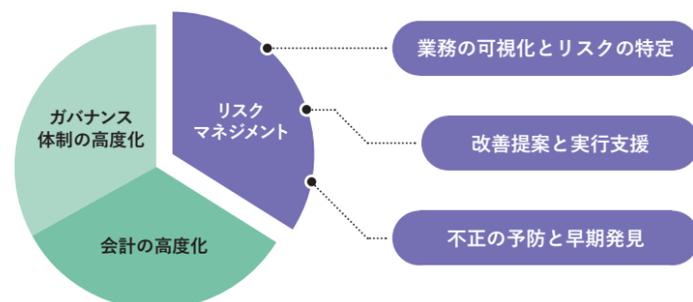


■ あいわの経営管理サービス

あいわAdvisoryでは、税務チームおよび各種専門家（弁護士、公認会計士、ITコンサルなど）と連携して経営課題のリスクと緊急度を分析し、優先順位付けを行ったうえで効果の高い課題解決をご支援します。



■ 経営管理サービスの一環としてのリスクマネジメント



「万一、刑事裁判になって有罪になると前科が付きます。これは企業にとつては重大なこと。犯罪捜査を経験した税理士として、いままでの経験を生かしながら、不正を未然に防止するための支援を全力で行ってほしい」と三浦氏は力強く語る。

研修以外に、危機管理意識を高めようための施策も行う。例えば、経営層は現場が見えていない、親会社は子会社の内情を把握していないといった事例はよくあること。そこで現場の業務プロセスをすべて可視化し、フローチャートなどで示すと

の中でも昨今では、自動車の型式指定を巡る認証不正問題の影響もあり、不正リスクへの関心が高まっている。「不正は発生してからは手遅れです。未然防止が肝心であり、そのための取り組みとして経営者・従業員の意識を高める独自の研修に力を入れています」と高橋氏は話す。

元国税査察官の税理士 経験生かし不正未然防止

この研修を担当するのが三浦かすみ氏だ。三浦氏は、元東京国税局の税務職員。約28年の税務職員としてのキャリアのうち18年間は、国税査

察官として脱税事件の調査を担当、国際的租税回避スキームの調査などにも従事していた経歴を持つ。「不正定多数の企業向けの研修であれば、海外子会社の不正や従業員の横領・窃盗、キックバックなど様々な不正の事例を取り上げ解説する内容が多いです。特定のクライアント企業向けに開催する場合には、ニーズに合わせた内容を提供します。国税査察官時代に私が実際に担当した案件なども念頭に、不正防止のポイントを解説することもあります」と三浦氏。一方的な情報提供にならないよう、受講者同士でディスカッションするなど、参加型の研修を行うこともある。

ともに、リスク管理体制の支援構築などにも力を入れる。「ホールディングスカンパニーや、複数の子会社を持つ企業向けのリスクマネジメントは、得意分野の1つです。事業拡大とともに目が行き届きにくくなるからこそ、外部の視点を入れることが肝心です」と杉山氏は強調する。あいわのアドバイザリー業務は、上場を支援したクライアント企業のさらなる成長やガバナンス強化に向けて提供するサービスが中心だった。しかし、今回紹介した不正リスク対策を始め、経営管理プラクティスグループが担当するリスクマネジメントは、新規の依頼にも対応する。実際に不正リスクの研修には、多くの新規クライアントが参加する。経営管理に不安を抱える企業は、ぜひあいわに相談してほしい。

あいわAdvisory

多様なプロフェッショナルが強み 不正リスクの把握・改善を支援

自動車メーカーの認証不正問題の影響もあり、企業の不正リスクへの注目が高まっている。不正は何よりも未然防止が重要。それには、「外部の目」を活用することが効果的だ。企業のリスクマネジメント対策支援に力を入れるあいわグループの取り組みを紹介する。

多様な経歴を持つプロが 経営課題の解決に貢献

1992年の創業以来、株式上場を目指す企業を会計・税務の面からサポートし続けているのがあいわ税理士法人だ。特に近年は毎年10社前後の上場に関与しており、2015年以降に行われた新規株式公開（IPO）における同社のクライアント企業は合計80社に上る。これは同時期のIPO全体の約10%に達する社数だ。IPO支援の実績が積み重なる中で、上場を果たしたクライアント企業がさらなる成長を追求するために積極的にM&A（買収・合併）を検討・実施するケースが増えてくる。そこでデューデリジェンス（資産査定）やバリュエーション（投資尺度）など、M&Aに関するアドバイザリー業務が求められるようになり、2016年12月にM&Aを支援するコンサルティンクファームとしてあいわFASを設立する。

その後、アドバイザリー業務の拡張のためにあいわFASを商号変更し、2021年9月に誕生したのがあいわAdvisoryだ。両社を合わせたあいわグループ（以下、あいわ）は現在、上場企業約300社、

上場準備企業約200社、未上場企業約300社をクライアントに持つまでになった。あいわ税理士法人代表パートナーの杉山康弘氏は「上場後にさらなる成長を遂げるクライアントがいる一方で、成長が鈍化してしまう企業もあります。やはり上場はゴールではなく、さらなる成長を実現するための手段になってほしい。そこで商号変更するとともに、M&A以外の領域でのアドバイザリー業務の強化を目指し、社内に経営管理プラクティスグループを立ち上げました」と説明する。

多様なクライアントニーズに応えるため、あいわには複数のプラクティスグループが存在する。これは特定の専門領域を深掘りし、サービス提供につなげていくためにメンバーが自主的に立ち上げている組織。多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルがチームを組み、それぞれの知識・経験・知恵を持ち寄ってクライアントの経営課題の解決に貢献する。

経営管理プラクティスグループは、あいわが上場支援を行った企業を中心に「会計の高度化」「事業計画の策定」「リスクマネジメント」など、上場後の成長に欠かせない支援サービスを提供する。数あるサービスメ



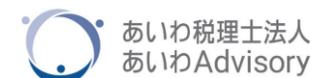
あいわAdvisory
シニアマネージャー
税理士
三浦かすみ氏

あいわAdvisory
パートナー
公認会計士
高橋雄一氏

あいわ税理士法人
あいわAdvisory
代表パートナー 税理士
杉山康弘氏

ニューの中でもいま、特に力を入れているのがリスクマネジメントだ。「当グループで定義するリスクは大きく4つあります。まずは不正リスクと粉飾リスク。そして業務効率化を阻むリスクと決算早期化を阻むリスクです。顕在化されていないものも含めリスクを特定し、それを除去する提案から実行支援までを行っています」と話すのは、あいわAdvisoryのパートナーで経営管理プラクティスグループのリーダーを務める高橋雄一氏だ。4つのリスク

INFORMATION



あいわAdvisory 株式会社

〒108-0075
東京都港区港南2-5-3
オリックス品川ビル4F
TEL 03-5715-3316
URL <https://www.aiwa-tax.or.jp/>